

取り扱い説明書

本取り扱い説明書は保証規定に関する記載があります。
紛失しないように保管してください。



BTE PP
BTE

Oticon Opn
Oticon Opn S
Oticon Opn Play
Oticon Siya
Oticon Ruby

Made for
Apple iPhone | iPad | iPod

oticon
life-changing technology

製品について

本取り扱い説明書は、Oticon Opn、Oticon Opn S、Oticon Opn Play、Oticon Siya、Oticon Rubyの各シリーズ製品群の以下の補聴器モデルとスタイルに対応しています。

- ☐ 耳掛け型85 (Siyaシリーズのみ)
- ☐ 耳掛け型105 PP (プラスパワー)

FW 6

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| ☐ Oticon Opn 1 | GTIN: (01) 05707131340795 |
| ☐ Oticon Opn 2 | GTIN: (01) 05707131340818 |
| ☐ Oticon Opn 3 | GTIN: (01) 05707131340801 |

FW 8

- | | |
|---|---------------------------|
| ☐ Oticon Opn S 1 | GTIN: (01) 05707131374967 |
| ☐ Oticon Opn S 2 | GTIN: (01) 05707131374974 |
| ☐ Oticon Opn S 3 | GTIN: (01) 05707131374981 |

FW 8

- | | |
|--|---------------------------|
| ☐ Oticon Opn Play 1 | GTIN: (01) 05707131374998 |
| ☐ Oticon Opn Play 2 | GTIN: (01) 05707131375001 |

FW 1

- | | |
|--|---------------------------|
| ☐ Oticon Siya 1 | GTIN: (01) 05707131340887 |
| ☐ Oticon Siya 2 | GTIN: (01) 05707131340894 |

FW 1

- | | |
|--|---------------------------|
| ☐ Oticon Ruby 1 | GTIN: (01) 05707131378491 |
| ☐ Oticon Ruby 2 | GTIN: (01) 05707131378507 |

- ☐ LED表示はOticon SiyaシリーズとOticon Rubyシリーズ製品には対応していません。

LED表示はユーザーと、介助者、ご家族、教師等周りの人への補聴器操作のサポート及び補聴器の状態やプログラム変更、警告をお知らせします。(関連項目をご参照ください)

取り扱い説明書について

この取扱説明書では補聴器の使用方法や取り扱い方法を説明しています。補聴器の機能を最大限に活用いただくためにも『注意事項』の項目を含めて、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

この補聴器は、販売店担当者によってお客様の聴力や使用方法に合わせて設定されております。ご質問またご不明の点については、お買い上げの補聴器販売店担当者へお尋ねください。

｜製品について｜ご使用前に｜取り扱い｜オプション｜耳鳴り｜注意事項｜追加事項｜

この取扱説明書を活用いただくために、本取扱説明書には項目別の目次がついています。この取扱説明書は大切に保管ください。

使用に際して

使用用途	補聴器は音を増幅し耳に届けます
使用上の注意	軽度から高重度の難聴に対応します
Oticon Opn Play の対象ユーザー	幼児、子ども、及び成人
その他シリーズの対象ユーザー	成人及び36か月以上の子ども
使用環境	屋内及び屋外
禁忌事項	体内埋め込み型インプラントをご使用の場合は、補聴器を使用する際、特別に注意が必要です。詳細は注意事項を参照ください。
臨床的ベネフィット	生活の質 (QOL) を向上する目的で、より楽なコミュニケーションのために、より良い言葉の理解を提供する設計をしています。

重要なお知らせ

補聴器は、補聴器の専門家、また補聴器販売に関わる専門スタッフによってお客様の聴力及び個別の条件にあわせたフィッティング(補聴器の調整過程)によって調整及び最適化を行う管理医療機器です。

目次

製品について

耳かけ型補聴器のスタイル及びイヤピースについて	10
補聴器の左右表示	14
マルチツール(電池交換とお手入れ用に使用)	15

ご使用前に

電源のオン / オフ	16
電池交換のタイミングについて	17
電池の交換(電池サイズ13)	18

取扱い

イヤモールド付き補聴器の装着のしかた	20
補聴器の毎日のお手入れ	21
極細チューブ付き補聴器の装着のしかた	24
極細チューブのお手入れ	25
標準的なイヤピースの交換	26
オーダーメイドイヤピースのお手入れ	28
耳垢防止フィルターの交換	29

目次

オプション	機内モード	30
	オプション機能とアクセサリー	31
	プログラムの切り替え	32
	音量調節	34
	消音	36
	iPhone及びiPadに接続して使用するとき	37
	外部機器とのワイヤレス接続	38
	その他オプション機能	40
	いたずら防止用固定式電池ぶた	42
耳鳴り		
	耳鳴りサウンドサポート機能 (オプション)	44
	耳鳴りサウンドサポート使用者のためのガイドライン	45
	サウンドオプションおよび音量調節	46
	使用時間の制限	49
	耳鳴りサウンドサポートに関する重要な事項	50

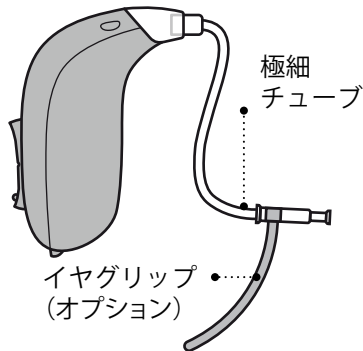
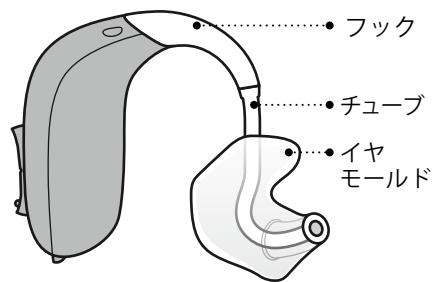
注意事項		
	耳鳴りサウンドサポートに関する注意事項	52
	注意事項	53
追加事項		
	トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法	60
	よりよい聞こえのための7つの簡単なステップ	62
	防塵・防水対応について(IP68)	66
	動作環境について	67
	保証とアフターサービス	68
	国内保証	70
	国際保証	72
	性能一覧表	74
	技術適合基準、安全基準および認可番号	80
	補聴器の設定	86
	通知音とLED表示	88

耳かけ型補聴器のスタイル及びイヤピースについて

耳かけ型補聴器には、フックとコーダと呼ばれる2種類のアタッチメントと、それぞれに対応するイヤピースの組み合わせがあります。

☐ 耳かけ型及びフックとモールド

☐ 耳かけ型 及び極細チューブ
(コーダミニフィット)



極細チューブは下記のいずれかのイヤピースと組み合わせて使用します。

標準的なイヤピース:



☐ オープンドーム



☐ ベースドーム, シングルベント



☐ ベースドーム, ダブルベント



☐ パワードーム



☐ グリップチップ
2つのサイズ (S/L)、左用、右用、
ベントの有無が選べます

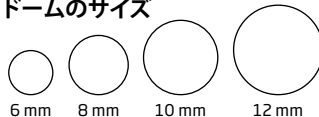
オーダーメイドイヤピース:



☐ マイクロモールド

☐ ライトチップ

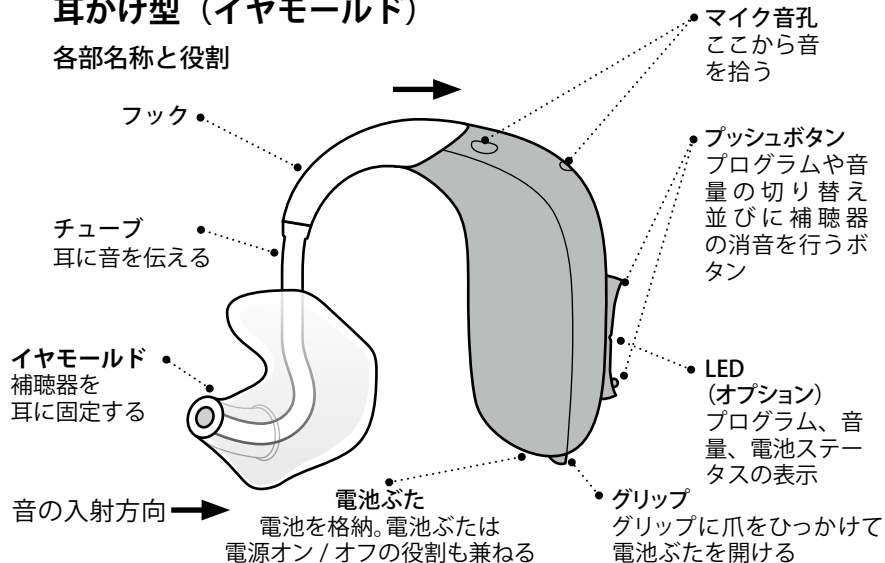
ドームのサイズ



ドーム又はグリップチップの交換については
「ドーム又はグリップチップの交換」を併せて
参照ください。

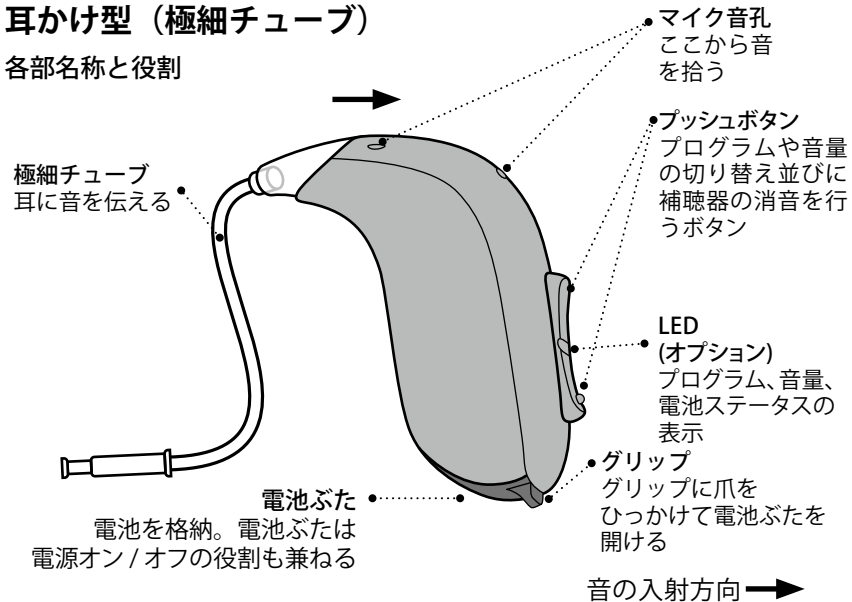
耳かけ型（イヤモールド）

各部名称と役割



耳かけ型（極細チューブ）

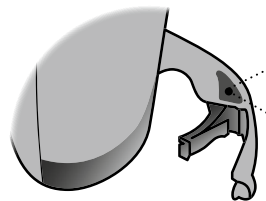
各部名称と役割



補聴器の左右表示

補聴器は、左右の耳で設定が異なることもあり補聴器の左右をきちんと見分けることが大切です。

右耳用と左耳用を見分けるために補聴器本体の電池ぶた上に左右表示がついています。また、マイクロモールド(オプション)でも右耳用と左耳用の見分けることができます。

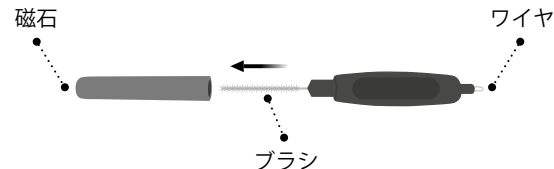


● **青の印**は補聴器が
左耳用であることを示す

● **赤の印**は補聴器が
右耳用であることを示す

マルチツール(電池交換とお手入れ用に使用)

マルチツールの磁石を活用いただくことで、電池がより簡単に交換できます。マルチツールはカバーを引き抜くとブラシが入っています。カバー先端のワイヤとともに、耳垢の掃除にお使いいただけます。マルチツールは補聴器販売店で購入いただくことが可能です。



重要なお知らせ

マルチツールは磁石を内蔵しています。クレジットカードや磁石の影響を受ける恐れがある機器類からは最低30cm離して保管してください。

電源のオン / オフ

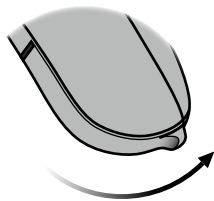
電池ぶたは、補聴器のオン/オフとして機能します。電池を長持ちさせるために、補聴器を装用していないときは、電池ぶたを開け電源を切ってください。あらかじめ設定された音量・プログラムに戻す際にも、電池ぶたを一旦開け閉めの操作をしてください。(クイックリセット)

LED表示(オプション)

電源がオンになると、ゆっくり緑色に2回点滅します。

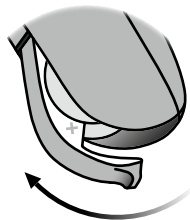
電源：オン

電池を入れてカチッと鳴るまで電池ぶたをしっかり閉めると電源が入ります。



電源：オフ

電池ぶたを開けると、電源が切れます。



電池交換のタイミングについて

電池交換のタイミングになると、電池が完全になくなるまで電池容量低下警告(3回)のビープ音が一定間隔で繰り返し鳴り続けます。

 **電池容量低下警告(3回)***
= 電池残量が少なくなっています

 **電池交換警告(4回)**
= 電池残量が完全になくなっています

補聴器と電池に関するヒント

補聴器が必要なときにいつでも機能するように、外出時などには予備の電池を携帯いただくか、またはお出かけ前に電池を新しいものに交換してください。

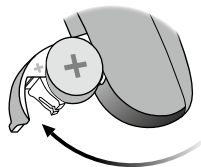
LED表示(オプション)

赤色の点滅を継続的に繰り返す=電池残量が少なくなっています。

*Bluetooth接続が切れるためワイヤレス アクセサリーは使用できなくなります。
補聴器で音声または音楽をストリーミングする場合、電池をより頻繁に交換する必要があります。

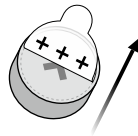
電池の交換 (電池サイズ 13)

1. 古い電池を取り出す



電池ぶたを完全に開けてから、古い電池を取り出します。

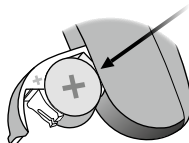
2. 新しい電池の保護シールをはがす



新しい電池の+ (プラス) 側に貼られている保護ステッカーをはがします。

ヒント：2分ほどお待ちください。電池が吸気し、十分に反応させる必要があります。

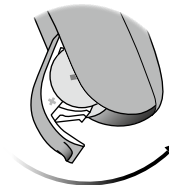
3. 新しい電池を入れる



新しい電池をセットします。電池ぶたの横方向からではなく上方から電池をセットしてください。

電池の+ (プラス) 側が上になっていることを確認してください。

4. 電池ぶたを閉める



電池ぶたをしっかりと閉めると電源が入ります。電池ぶたを閉めるとイヤピースを通じてメロディ音が聞こえます。

イヤピースを耳に近づけ、メロディ音を確認してください。

ヒント



マルチツール

マルチツールを電池交換時に活用いただくことができます。磁石のついた側を利用して、電池の出し入れを行うことができます。

マルチツールは補聴器販売店で購入いただくことが可能です。

イヤモールド付き補聴器の装着のしかた

フックおよびイヤモールドがある補聴器をお持ちの場合は以下をご覧ください。



イヤモールドは、お客様の耳にフィットするように、オーダーメイドで作成します。

ステップ 1



耳たぶをゆっくり引っ張り、イヤモールド全体を耳の中へ押し込んでください。

ステップ 2



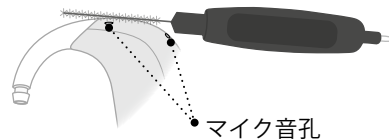
イヤモールドがうまく耳の中へ入りましたら、補聴器を耳の裏側に乗せます。

補聴器の毎日のお手入れ

補聴器を取り扱う際には、落として壊してしまわないように椅子に座るなどして、表面のやわらかいものの上で行ってください。

マイク音孔のお手入れ

マイク音孔のゴミや汚れを掃除道具（マルチツール）のブラシを使用し、そっと取り除いてください。ブラシは表面の掃除だけに利用し、奥まで差し込まないよう気をつけてください。



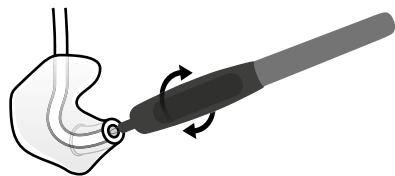
重要なお知らせ

補聴器のお手入れには、やわらかく乾いた布をご使用ください。補聴器本体を絶対に水や液体で洗ったり、浸したりしないでください。

イヤモールドの掃除方法

イヤモールドは定期的に洗ってください。イヤモールドの表面はやわらかい布で拭いてください。

音の出口の部分に耳垢が少しでもついていたらブラシではらって取り除くか、ワイヤを使って取り除いてください。



チューブの交換

イヤモールドと補聴器の間をつなぐチューブは黄色くなったり、硬くなったりしたら直ちにお買い求めの販売店で交換を依頼してください。

イヤモールドの洗い方

ステップ 1



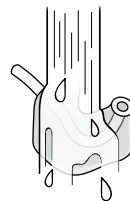
イヤモールドを補聴器からはずす前に、イヤモールドの左右を必ず確認してください。必ず左用のイヤモールドは左用の補聴器に、右用のイヤモールドは右用の補聴器につけてください。

ステップ 2



イヤモールドとチューブをフックの部分から外してください。チューブをはずす際はフックをしっかり抑えてください。無理に引っ張ると補聴器などの故障の原因につながることがあります。

ステップ 3



中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗って、水でよくゆすいでください。イヤモールドとチューブが完全に乾いていることを確認してから補聴器につけてください。

極細チューブ付き補聴器の装着のしかた

極細チューブを使用する場合は、以下をご覧ください。

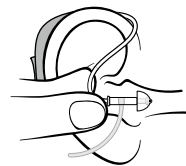
ステップ 1



補聴器を耳の後ろにかけます。

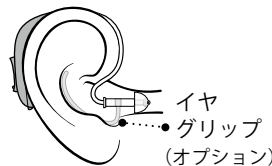
極細チューブは必ずイヤピースを取り付けてご使用ください。お使いの補聴器に適合したパーツをご使用ください。

ステップ 2



チューブの曲がっている部分を親指と人差し指で持ちます。そのままチューブが耳の付け根に沿うようにイヤピースを耳の穴に押し込んでください。

ステップ 3

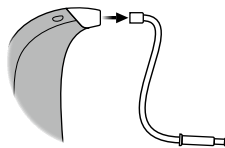


人差し指で、イヤグリップを耳たぶの下へのこみ部分に入れてください。鏡を見てチューブが耳から浮いている場合は、イヤピースが正しく耳の穴の中に入っていないので入れ直してください。

極細チューブのお手入れ

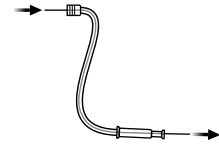
極細チューブは、清潔に保ち、また湿気や耳垢は取り除く必要があります。耳垢などによる詰まりは、補聴器の性能に影響を与えるのでお気をつけください。ご自身でお手入れが難しいときはお求めの販売店にご相談ください。

ステップ 1



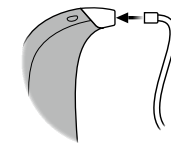
チューブを引っ張って補聴器から取り外してください。

ステップ 2



クリーニングツール*をチューブの一番奥まで差し込んでください。

ステップ 3



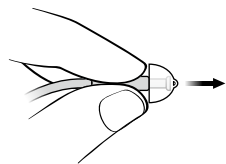
クリーニングツールを抜いて、チューブを補聴器につけてください。

*クリーニングツールはお買い上げの販売店でお求めいただけます。

標準的なイヤピースの交換

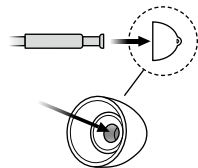
標準的なイヤピース（ドームやグリップチップ）は洗浄しないでください。汚れたり古くなってきた際には、交換してください。交換時期の目安は一カ月に一度です。交換が難しい際は、お買い上げの販売店へご相談ください。

ステップ1



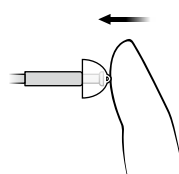
スピーカーを持ちながら爪の先などでイヤピースの付け根をつまんで、引っ張って外してください。

ステップ2



新しいイヤピースを極細チューブにしっかりと押し込んでください。

ステップ3



イヤピース類が落ちないように必ずしっかりと奥まで押し込んでください。

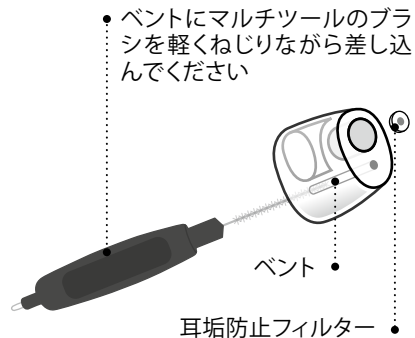
重要なお知らせ

補聴器を外した際にドーム類がついていない場合は、外耳道にドームが残っている場合があります。対処については、耳鼻科医また補聴器販売店へご相談ください。

オーダーメイドイヤピースのお手入れ

イヤピースは定期的にお手入れしてください。イヤピースには補聴器を耳垢やゴミによるダメージから守るため白い耳垢防止フィルターが付いています。

フィルターがつまっているとき、また補聴器の音がおかしいときは専用の耳垢防止フィルターを交換してください。又は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

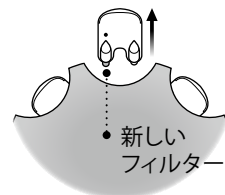


重要なお知らせ

耳垢防止フィルターは販売店でご相談の上、ご購入ください。交換が難しい場合は、お求めの販売店での交換をおすすめします。

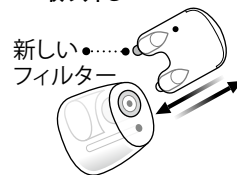
耳垢防止フィルターの交換

1. ツールを取り外す



ケースからツールを切り離します。ツールには2種類のピンがあり、古いフィルターを取り外すための空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。

2. 古いフィルターの取り外し



空のピンをモールドに取り付けられている古いフィルターに押し付け、引き抜きます。

3. 新しいフィルターの挿入



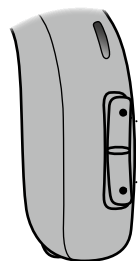
新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。

機内モード

飛行機搭乗中など無線信号の発生が禁止されている場所に入る場合は、機内モードにしなければなりません。その場合も補聴器は機能します。片方の補聴器を機内モードにすると両方の補聴器のBluetoothがオフになります。

LED表示(オプション)

機内モードになると、LEDが緑色・赤色・赤色の順に数回点滅します。



機内モードのオン・オフ
ボタンを7秒間押し続けてください。
確認音が鳴ります。

また、電池ぶたの開閉により機内
モードをオフにすることができます。

オプション機能とアクセサリ

本ページ以降に記載されている機能並びに、アクセサリ類はオプションとなります。補聴器のプログラム設定については、お買い上げ販売店にお尋ねください。

聞き取りが難しい場面を経験された場合には、目的別プログラムの設定が効果的な場合もあります。これらの設定は補聴器専門スタッフによって調整されます。

サポートが必要な聴取環境があれば記入してください。

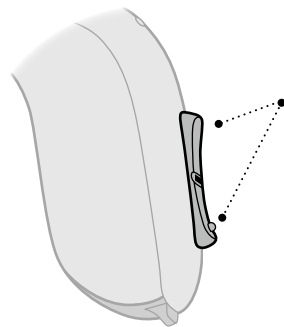
プログラムの切り替え

お買い上げの補聴器は4つまでのプログラムを設定できます。
プログラムの設定は補聴器専門スタッフが行います。

「通知音とLED表示」を参照ください。

LED表示(オプション)

プログラム番号に応じた回数、緑色に点滅します。

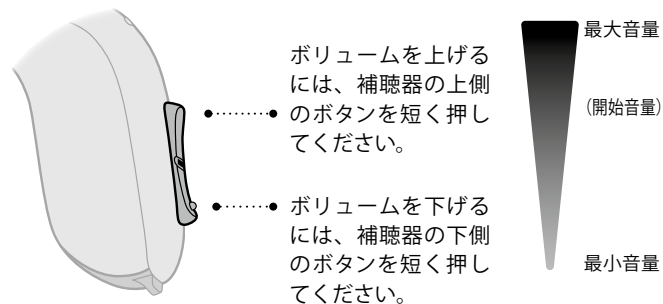


プログラムの切り替え時にはボタンを押す

上下のボタンでプログラムを切り替えることができます。上側のボタンを押すとプログラムが進み(例: プログラム1→プログラム2)、下側のボタンを押すとプログラムが戻ります(例: プログラム4→プログラム3)

音量調節

補聴器のボタンを操作することで音量調節が可能です。音量を上下させるとピッという音が鳴ります。



LED表示(オプション)

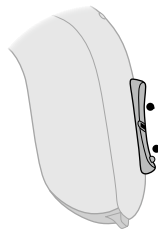
音量を変更するたびに緑色に点滅します。また、開始位置に戻るとゆっくり緑色に点滅します。最大音量または最小音量になると赤く点滅します。

消音

補聴器を使用した状態で音が出ないように設定したい時に、この機能を使用してください。この機能は補聴器マイクからの音を消音します。

LED表示(オプション)

消音状態になると緑色と赤色の点滅を繰り返します。



ボリューム / プログラムボタンを 4 秒以上長押しすると、補聴器はスタンバイモード(消音)になり、音が出なくなります。再び補聴器マイクを作動させるには、ボタンを短く押してください。

重要なお知らせ

消音機能を電源オフの代わりとして使用しないでください。
消音機能では、音が出なくても電池は消耗します。

iPhone及びiPadに接続して使用する時

お買い上げの補聴器はMade for iPhone®であり、iPhone、iPad® または iPod touch®にワイヤレス通信で接続します。

補聴器とアップル社製品とのペアリングのサポートに関しましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



iPhoneとのペアリング方法は下記URLを参照ください。
www.oticon.global/pairing

互換性についての情報は下記を参照ください。
www.oticon.global/compatibility

“Made for Apple”バッジとは、電子アクセサリーがApple社製品への接続専用に設計された製品でありApple社の性能基準に適合していることをデベロッパが認定済みです。Apple社はこの補聴器の動作及び安全性・規制基準の適合に関する責任はありません。

iPod、iPhone、またはiPadと当該アクセサリーを使用すると、ワイヤレス性能に影響が生じることにご注意ください。

外部機器とのワイヤレス接続

お買い上げの補聴器には、ワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレスでさまざまな外部機器と接続することができます。日常生活の多くの場面でよりよい聞き取りやコミュニケーションをサポートします。

コネクトクリップ

携帯電話とペアリングして、補聴器をハンズフリーヘッドセットとして、またペアリングした補聴器装用のリモートマイクとして使用することができます。

テレビアダプター3.0

テレビアダプターはテレビやその他オーディオ機器の音声を補聴器に直接届けます。

FM

この補聴器はFMシステムに対応しています。FMシステムにより、専用の送信機からの音声信号を直接補聴器に通信できます。FMシステムによって専用の送信機から直接補聴器へ会話音声やオーディオ信号の送信が可能です。FMプログラム時補聴器は機内モードになります。

リモートコントロール3.0

補聴器のプログラム切り替えと音量調節、消音を行うことができます。

Eduマイク

教室などでの聞こえをサポートするワイヤレスリモートマイクシステムです。

Oticon ON アプリ

補聴器の音量調節やプログラム変更を、目立たずに操作できます。iPhone, iPad, iPod touch, アンドロイドスマートフォンに対応しています。

詳細な情報はwww.oticon.globalを参照するか、お求めの補聴器販売店にお問い合わせください。

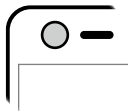
Apple、Apple のロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。Android、Google Play、Google Playロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。

その他オプション機能



テレコイル

テレコイルは、ヒアリングループ（磁界）システムから信号を受信します。テレコイル対応電話や、ループシステムを採用した建物や施設などで使います。この記号又は類似の記号がある建物や施設にはテレループが採用されています。



オートフォン

（オーティコン オープン / オーティコンシャのみ）

お使いの補聴器でオートフォンをプログラム設定した場合、補聴器を受話器に近づけるとオートフォン機能が作動します。

CROS (オーティコン オープンS 1、オープンS 2、オーティコン プレイ 1、オーティコン ルビー 1、ルビー 2のオプション)

一側性難聴の方のためのソリューションです。

不良聴耳にオーティコン CROS送信機を装用し、良聴耳に装用している補聴器に音を届けます。

外部入力 (DAI)

DAIを使用することで、TV、ラジオ、音楽プレーヤーなどの外部オーディオ機器からの音声を補聴器で直接聞くことができます。DAIアダプターを補聴器に取り付けると、専用コードでオーディオ機器とつなぐこともできます。

詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

重要なお知らせ

外部電源に接続した外部オーディオ機器と外部入力端子(DAI)とつなげる場合は、その外部オーディオ機器はIEC 62368-1または同等の安全規格に適合していなければなりません。

□ いたずら防止用固定式電池ぶた（オプション）

電池ぶたの誤った操作を防ぐために、固定式電池ぶたを取り付けることができます。乳幼児や小さな子ども、またはあやまって電池をのみ込む可能性がある方がお使いの場合にご使用ください。

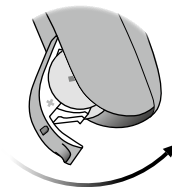
固定式電池ぶたにつけかえる際にサポートが必要な場合は、お買い上げの補聴器販売店にご依頼ください。

重要なお知らせ

電池ぶたを完全に開ける際に、過度の力を加えることは避けてください。電池が正しく入っていることを確認してください。

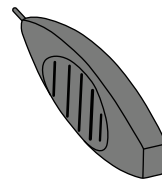
固定式電池ぶたの固定機能が正しく機能していないと感じた場合には、お買い上げの補聴器販売店へご相談ください。

電池ぶたをロックするには



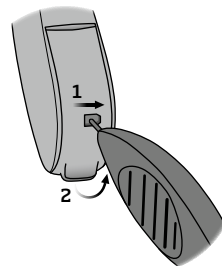
電池ぶたを完全に閉めて電池ぶたのロックがかかっていることを確認してください

電池ぶたのロックの解除に使用するツール



図の小さなツールを使用します。ツールについては、販売店にお問い合わせください

電池ぶたのロックの解除



ツールの先を電池ぶた上の小さな穴に入れてください

1. ツールをそのまま右にずらしします。
2. 電池ぶたを開けてください。

□ 耳鳴りサウンドサポート機能(オプション)

耳鳴りサウンドサポートの使用目的

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り対処・治療の一環として耳鳴りに悩む方を対象に一時的な耳鳴り緩和のための音を発生させる機能です。

使用の対象者：18歳以上の成人

耳鳴りサウンドサポートは、難聴および耳鳴りの評価と対処方法に精通している耳鼻咽喉科医、並びにこれら医師の指導の下での聴覚ケアの専門家による調整を意図しています。耳鳴りサウンドサポートのフィッティングは、耳鳴り治療や対処に関わる補聴器専門スタッフによって行われなければなりません。

耳鳴りサウンドサポート使用者のためのガイドライン

以下には耳鳴りサウンドサポートの使用方法に関する情報を記載しています。医師の指導の下、耳鳴りサウンドサポートが有効になっている場合にご参照ください。

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り治療・対処療法のための電子機器です。耳の中で鳴る「キーン」という音や頭の中で鳴るノイズなどから意識をそらして緩和を助ける周波数帯域や音量で音を発生させます。

専門医は、適切なフォローアップケアの提案を行うことが出来ます。医師の助言や治療方針に従うことが重要です。

耳鼻咽喉科医による検査受診に基づく処方による使用のみ

耳鳴りの症状がある方はサウンドサポートの使用を検討する前に耳鼻咽喉科医による検査受診が必要です。そのような検査受診の目的とは、耳鳴りを引き起こしている症状のうち治療可能な状態であるかどうかを確認し、治療可能なものについてはサウンドサポートを使用する前に、適切な治療を行うためです。

サウンドオプションおよび音量調節

耳鳴りサウンドサポートは、聴覚ケアの専門家によってお客様の聴力および耳鳴り緩和のための音の好みに合わせてプログラムされます。耳鳴りサウンドサポートは、複数のサウンドを提供します。専門家や補聴器専門スタッフとともにお客様の聞こえの好みに合うサウンドを選択します。

耳鳴りサウンドサポートプログラム

専門家とともに、耳鳴りサウンドサポートの中からどのプログラムを有効にするかを選択します。この機能は最大4つまでプログラムへの設定が可能です。

消音

耳鳴りサウンドサポートが有効になっている状態でプログラムを使用している時には、消音機能で、補聴器マイクの音のみを消音にします。耳鳴りサウンドサポートのサウンドは消音になりません。消音機能の使用方法は「消音」をご参照ください。

耳鳴りサウンドサポートの音量調節

耳鳴りサウンドサポートのプログラムを選択すると、補聴器のプッシュボタンによる音量調節は無効となり、耳鳴りサウンドサポートの音量変更のみが可能になります。

音量調整の設定方法は次の2つです：

- A) 片耳ずつ音量を変更する。
 - B) 両耳同時に音量を変更する。
- これら2つの設定は、専門家が行います。

A) 耳鳴りサウンドサポートの音量を個別に片耳ずつ変更する方法 音量を変更したい耳の補聴器のボタンを押して操作します。ボリュームを上げるには、補聴器の上側のボタンを短く押してください。ボリュームを下げるには、補聴器の下側のボタンを短く押してください。
B) 耳鳴りサウンドサポートの音量を両耳同時に調節する方法 両耳で補聴器を装用する際には、片側の補聴器の音量を操作することで左右の補聴器の音量を同時に変更することが出来ます。 ボリュームを上げるには、補聴器の上側のボタンを短く押してください。 ボリュームを下げるには、補聴器の下側のボタンを短く押してください。

使用時間の制限

日常の使用の注意点

耳鳴りサウンドサポートの音量は、長時間使用すると聴力低下を招く恐れのある、高出力音量までの設定が可能です。専門家による一日あたりの最大装用時間の指示に従ってください。不快な音量、また大きすぎる音量での使用は避けてください。

本書の「補聴器の設定」内の「耳鳴りサウンドサポート：使用上限」を参照し、安全に使用できる1日当たりの緩和音の上限時間をご確認ください。

耳鳴りサウンドサポートに関する重要な事項 (聴覚ケアの専門家の方へ)

耳鳴りサウンドサポートについて

耳鳴りサウンドサポートは、モジュール機能であり医師の指示の下、補聴器専門家によって機能の有効設定が可能です。

最大装用時間

耳鳴りサウンドサポートの最大装用時間は、音量を80dB(A)SPL以上に設定すると短くなります。80dB(A)SPL以上に設定を行うと、フィッティングソフトウェア上に自動的に警告メッセージが表示されます。フィッティングウェア上の耳鳴り対処用フィッティンググラフ横に表示される装用時間インジケータをご参照ください。

初期設定では音量調節が無効

初期設定では、耳鳴りサウンドサポートの音量調節は無効になっています。音量調節を有効にすると騒音曝露の危険性が高まります。

音量調節を有効にすると

「ボタンと通知音」画面で耳鳴り対策音量コントロールを有効にすると警告が表示されることがあります。これは、聴覚障害を招き得る音量で緩和音を聞く場合に表示されます。このフィッティングソフトウェア上の「最大装用時間」の表は、患者が耳鳴りサウンドサポートを安全に使用できる上限を示したものです。

- ・プログラムごとに耳鳴りサウンドサポートの最大装用時間を確認してください。
- ・それらの値を本取扱説明書の最後にある「耳鳴りサウンドサポート：使用上限」に記入してください。
- ・適切に使用するようにユーザーにご説明ください。

⚠ 耳鳴りサウンドサポートに関する注意事項

医師並びにその指示の下、補聴器専門家によって耳鳴りサウンドサポートが有効に設定されている場合には、下記にご注意ください。

いかなる耳鳴り緩和用装置でも、装置から発生するサウンドの使用にあたっては、耳鳴りの悪化および聴力の変化などの懸念が伴います。

聴力や耳鳴りの変化、めまい、吐き気、頭痛、動悸、または補聴器装用による皮膚のかゆみなどを感じたら、すぐに補聴器の使用を中断し、医師または補聴器専門スタッフへご相談ください。

他の電子機器と同様に、耳鳴りサウンドサポートを誤って使用すると、危険性を伴う影響があります。適切な使用方法を守り、子どもおよびペットの手の届かないようにご注意ください。

最大装用時間について

医師による指示に基づいて設定された耳鳴りサウンドサポートの一日当たりの最大装用時間を必ず守ってご使用ください。最大装用時間を超過した使用は耳鳴りの悪化および聴力の悪化に繋がる恐れがあります。

⚠ 注意事項

補聴器を正しくかつ安全にお使いいただくために、補聴器をお使いになる前に本取り扱い説明書の注意事項を正しくご理解いただいた上でご使用ください。

補聴器に関して予期しない動作や事象が発生した場合には、お買い上げの補聴器販売店へご相談ください。補聴器販売スタッフは問題解決と、必要に応じてメーカー又は関連機関への報告もサポートします。

補聴器は以前の聞こえに戻すものではなく、器質性疾患による聴力低下を防いだり治したりすることはできません。補聴器は聴覚障害の一部であり、

聴覚訓練や読唇術の指導で補う必要がある場合があります。さらに、補聴器のメリットを最大限ご体感頂くために、日常的に装用してください。

補聴器の使用について

販売店において調整された補聴器を指示通りにお使いください。間違った使用方法によって、聴力低下の原因になる場合があります。

ご自身の補聴器は絶対に他の人に使用させないでください。間違った使用は聴力を傷める原因となることがあります。

⚠ 注意事項

補聴器・電池の誤飲と窒息の危険性

補聴器やその部品、電池は幼児やあやまってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない場所へ置いてください。薬を飲むときに、電池を特に錠剤と間違えることがありますので、十分ご注意ください。

ほとんどの補聴器は、利用される方の要望にお応えして、いたずら防止用固定式電池ぶたを取り付けることができます(有料オプション)。幼児をはじめ、あやまって電池をのみ込む危険のある人にはぜひお勧めします。

乳幼児(特に月齢36か月以下のお子様)では固定式電池ぶたを必ず使用してください。

固定式電池ぶたの対応についてはお問い合わせの補聴器販売店にお問い合わせください。

誤って電池や補聴器をのみ込んだ場合には、直ちに医療機関を受診ください。

電池使用

電池は販売店推奨のものをお使いください。品質の悪い電池は補聴器の機能の低下や、液漏れによる故障や事故を引き起こすことがあります。

電池の充電を行わないでください。また電池を火中に投じないでください。破裂などによってけがの原因になる危険性があります。

機能停止の可能性

補聴器は警告音なしに機能を停止する可能性があります。警告音で動作状況を判断している場合には特に留意ください。(例:交通量のある道路沿いなど) 電池切れ、チューブなどへの水分の付着や耳垢などによって補聴器が機能を停止する可能性もあります。

体内埋め込み型(能動型)機器に関して

お使いの補聴器は、人体への電磁力および電圧誘導の人体曝露に関する国際基準(比吸収率 - SAR)に基づき人の健康に対して徹底的に試験・特性評価されています。

この曝露値は、人間の健康基準およびペースメーカーや心臓除細動器などの能動的な医療用インプラントとの併用

と人の健康における規格で定義された、人体へのSAR、誘発電磁力および電圧誘導の国際的に許容される安全限界を大きく下回っています。

能動型脳インプラントをご使用の場合には、埋め込み型機器のメーカーに干渉の危険性に関してお問い合わせください。

埋め込み型機器をスマートフォン用磁石や内蔵磁石のあるマルチツールを30cm以上近づけないでください。(例:胸ポケットなどに入れて持ち歩かない等)

⚠ 注意事項

一般的に、埋め込み型除細動器およびペースメーカーのメーカーが推奨する磁石を使用する際のガイドラインに従ってください。

人工内耳

片側に人工内耳(CI)を、もう一方の耳に補聴器を装用して使用する場合、CIと補聴器の距離を必ず1cm以上に保ってください。CIのサウンドプロセッサ、コイル、磁石からの磁場が、補聴器のスピーカユニットに恒久的損傷をもたらすおそれがあります。お手入れの際や電池の交換時などにそれぞれを近くに置かないでください。CIと補聴器を同じ箱に入れて持ち運ばないでください。

レントゲンやCT/MRI/PETスキャン、電気療法、手術をする際の注意

レントゲンやCT/MRI/PETスキャンなどの検査、または電気療法や手術などの治療を行っている際には、補聴器が強い磁場に曝されることで故障することがありますので、補聴器を外してください。

高温や薬品等を避ける

補聴器を火に近づけたり炎天下の車内など高温の場所に長時間放置しないでください。
補聴器を電子レンジやオーブンなどに入れないでください。

化粧品、ヘアスプレー、香水、アフターシェーブローション、日焼け止めローション、虫除けスプレーなどは補聴器をいためます。使用する場合は、補聴器を外し、それらが完全に乾いてから補聴器を装用してください。

パワー型補聴器の取扱い注意点

最大出力が132dB SPL (IEC 60138-4 / IEC 711)を超える補聴器に関しては、大きな音が出ますので、取り扱いに十分にご注意ください。聴力に合わせた適切な器種の選択や調整が行われていないと、聴力低下を招く恐れがあります。

お使いの補聴器がパワー型補聴器かどうかは本書始めにある補聴器モデルの一覧を参照ください。

起こりうる副作用

補聴器、モールドやドームを使い始めると耳垢が出やすくなることがあります。

お買い上げの補聴器はアレルギー誘発性物質を排除していますが、まれに耳の中にかゆみを生じたり通常とは異なる状態が発生する可能性もあります。

耳に何らかの異常を感じた場合は、耳鼻科医を受診ください。

航空機内での使用

お使いの補聴器はBluetooth通信機能を搭載しているため、許可のない限り、機内では機内モードをオンにしなくてはなりません。

⚠ 注意事項

外部機器との接続について

本製品と外部電源に（AUX入力端子やUSBまたは直接）つなげた機器との接続の安全性は、接続された外部信号に影響されます。本製品に外部電源をつなげた状態で接続する機器は、IEC-62368-1または同等の規格に適合している必要があります。

非同梱品との非互換性について

本製品メーカーより供給されたアクセサリ、トランスデューサー、ケーブルを使用ください。非互換製品の使用は電磁ノイズの増加や電磁ノイズに対する電気・電子機器の耐性の低下につながる恐れがあります。

変更・修正の禁止

メーカーによって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。

⚠ 干渉

この補聴器は、最も厳しい国際規格に従って電磁波干渉について徹底的に品質検査を行ってきました。上記記号のある装置の近くで、電磁干渉が発生する場合があります。ポータブルおよびモバイルRF（無線周波数）通信機器は、補聴器の性能に影響を与える可能性があります。補聴器が電磁干渉の影響を受ける場合、干渉を減らすために干渉原因から遠ざけてください。

トラブルシューティング/ 故障と思われるときの対処法

症状	可能性のある原因	対策
音が出ない	電池残量がなくなっている	新しい電池に取り替える
	イヤピースの音の出口が詰まっている(ドーム類、グリップチップ、マイクロモールド)	イヤモールドを掃除する
		耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する
	消音になっている	消音を解除する
プツプツ音がる、音が弱い	音の出口が詰まっている	モールドを掃除する、または耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する
	湿気	電池と補聴器を柔らかい布で拭く、補聴器を乾燥ケースで十分に乾かす
ピーピー音がする	補聴器がきちんと耳に入っていない	補聴器を入れ直す
	耳の中に耳垢が詰まっている	耳鼻科医を受診する
	耳が成長した	お買い上げ販売店へ連絡をする
ビーブ(警告)音が聞こえる/ LEDが点滅する (オプション) (サービスリペアモード)	補聴器から連続したビーブ音が、4回にわたって聞こえた場合、および/または、LEDが一拍置いて赤色に4回点滅を繰り返す場合、補聴器のアンブレットのチェックが必要です	お買い上げ販売店へ連絡をする
Apple社機器とのペアリングの問題について	Bluetoothの接続が失敗した	1) 補聴器とのペアリングを解除 2) Bluetooth設定をいったんオフにして再度オンにする 3) 補聴器の電池ぶたの開閉を行う 4) 補聴器ペアリングの再設定を行う (iPhoneとのペアリングのしかたの項を参照ください)
	片方の補聴器のみペアリングがされている	

以上で解決しない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

より良い聞こえのための7つの簡単なステップ

補聴器を装用し始めて数日から数週間は、特に補聴器を初めて使用される方は、耳慣れない音が聞こえてきます。下記のステップで、新しい音や長い間聞いていなかった音に慣れていくことができます。

①家の静かな所での練習

家などの静かな所で補聴器をつけ、新たに聞こえてくるいろいろな音に慣れましょう。新しく聞こえる音が何の音なのかを一つ一つ確かめてみましょう。今まで聞こえていた音も補聴器で聞くと感じが違って聞こえることがあります。徐々に周囲の音に慣れていきます。

補聴器を使っていて疲れを感じる時は、少し休んでください。徐々に補聴器の音に慣れるのに従い長時間装用することができるようになり、一日中快適に装用できるようになります。

②一対一の会話

まず、静かな部屋で、顔の表情を読み取りやすいように、向かい合って座ってください。最初は少し大きく騒がしく感じるくらいの、いつもとは違った新しい会話の声が聞こえてきます。けれども、脳がその新しい音声に適応していくにつれて、人の声が以前よりも鮮明に聞こえるようになります。

③ラジオやテレビを聴きましょう

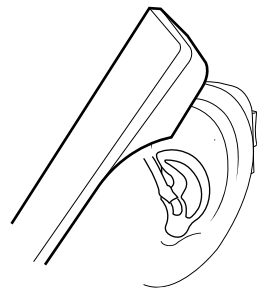
始めは言葉が聞き取りやすいニュース番組を聞いてください。そして、他の番組をお試しください。

④数人での会話

レストランなどで数人で会話をしているときなどは、ふつう周囲の雑音が大きく聞き取りが難しくなります。話している人に注意を集中してみてください。その人の話が分かりますか。周りに雑音がある場合には、なかなか聞き取りが難しいと思いますが、そのような時は遠慮なく聞き返してください。

⑤ 電話で話す

補聴器を装着したまま電話をかける時には、受話器の上側のふちを頬骨に沿って軽くあてるようにして持ち、電話の受話器からの音が補聴器のマイクに直接入るようにします。こうすると、ピーピー音がらず、会話を聞くことができます。この持ち方をしたときには、電話の相手に良く聞こえるように受話器のマイクに直接話しかけるようにしてください。



⑥ 携帯電話など

お買い上げの補聴器は、国際EMC（電磁両立性）規格に適合しています。しかしながら、携帯電話の種類やメーカーによっては、補聴器にノイズが入るかもしれませんが、故障ではありません。

⑦ 補聴器を常時装用するように心がける

より良い聞こえを実現するためのベストな方法は、一日中補聴器を使用することができるまで、補聴器をつけて聞く練習をすることです。補聴器はその音に慣れていただくことによって、より効果が発揮できます。

補聴器を装用することによって以前の聞こえが戻るわけではありません。また、補聴器は難聴を予防したり、治すことはできません。しかし、お客様の聞こえの力をサポートすることができます。両耳に補聴器をご購入の場合は、2つとも装用してください。

装用中に違和感を感じた場合には販売店へご相談ください。

防塵・防水対応について(IP68)

お買い上げいただきました補聴器は日常防水対応の補聴器です。同補聴器は防水・防塵の指標となる国際規格を取得しておりますが、完全防水ではありません。

補聴器が水に濡れたり、過度の湿気にさらされるなどして動作しなくなった場合は、次の手順に従ってください：

1. 補聴器の外側についた水分をそっとふき取ってください。
2. 電池ぶたを開け、電池を取り除き電池室内部の水分を慎重にふき取ってください。
3. 補聴器の電池ぶたを開けたまま、補聴器を30分以上乾かしてください。
4. 新しい電池を入れてください。

重要なお知らせ

入浴時や水泳、シュノーケリング、ダイビングなどのスポーツを行う際には補聴器を外してください。補聴器を水やその他の液体に浸すことはおやめください。

動作環境について

動作環境条件	温度: +1℃ ～ +40℃ 湿度: 5 % ～ 93%RH、ただし結露しないこと
保管条件および 輸送条件	保管および輸送の際、温度と湿度は以下の範囲を超えないこと: 温度: -25℃ ～ +60℃ 湿度: 5 % ～ 93%RH、ただし結露しないこと

保証とアフターサービス

保証書について

この取り扱い説明書には保証書に関する記載が記されています。製品保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。

国際保証について

日本国外でも保証条件を満たしたものは、無料修理が可能です。修理に際しましては、国際保証カードの提示が必要になります。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

故障などの場合

補聴器の故障、また不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店へお持ちください。この補聴器の補修用部品の保有期間は製造中止後 5 年間となります。補修用部品はこの補聴器の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に本取扱説明書の60ページに従ってご確認ください、なお異常がある場合には、使用を中止しお買い上げの販売店へご依頼ください。

○保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をそえて補聴器をご持参ください。

○保証期間を過ぎている場合は

お買い上げの販売店に御相談ください。修理によって補聴器の性能が維持できる場合には、ご希望に応じて有料修理を承ります。

修理・お手入れ・お取り扱いに関するご相談は、まずお買い求めの販売店へご相談ください。

デマント・ジャパン株式会社

カスタマーサービスのご案内

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア西館16階

電話:044-543-0615 FAX:044-543-0616

受付時間 平日9:30~17:30 (土日祝日を除く)

e-mail: info@oticon.co.jp

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がございます。

国内保証

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障が生じた場合には、お買い上げ補聴器の無料修理を保証いたします。

1. 無料修理をご依頼になる場合には補聴器保証書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居などの事情によりお買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お買い上げ販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。
3. 当該保証期間を経過した補聴器の修理は有料となります。
4. 無償保証期間内でも、下記の場合には有料となります。
 - A) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - B) お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - C) 補聴器保証書の提示のない修理。
 - D) 地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障または損傷の修理。（お買い上げ保険が指定する補償条件を除く）
5. 修理後3カ月以内に生じた同一箇所の故障は無料にて修理いたします。
6. オーダーメイドのシェル交換につきましては、当社が販売店に別途定める条件に基づくものとし、本保証書の適用は例外になります。
7. 補聴器保証書は日本国内においてのみ有効です。日本国外での保証に関しましては国際保証についての記載をご参照ください。
8. 補聴器保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

お買上保険特約

お買い上げいただいた補聴器が火災・盗難にあった場合、お買い上げ日より1年間無料修理・または同一器種または弊社が規定する器種再交付の補償をいたします。また同一器種または弊社規定の補聴器の再交付に際しては、保証書の付与はありません。

補償内容

火災：無償修理または同一器種または弊社が規定する器種の再交付

盗難：同一器種または弊社が規定する補聴器の再交付

補償の対象とならないもの

○地震・噴火・水害、落雷、その他天災地変による損害・故意・過失・置き忘れ紛失等による損害、電氣的・機械的事故による損害

お買上保険特約請求に必要な書類

○補聴器保証書

○火災の場合：消防署発行の罹災証明書

○盗難の場合：警察署に提出された盗難届の写し

国際保証

日本国外における保証（制限付き保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、電池や耳垢防止フィルターといったアクセサリパーツを除く機器本体となります。国際保証カードに「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。当該規定は弊社の国際保証規定により修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

お客様の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理、耳の状態変化、異物の混入による損傷に対しては、保証期間内であっても保証適用外となり修理をお断りする場合がございます。販売店によってはこの制限付き保証書の条項を越えた保証を提供する場合があります。詳しくは販売店までお問い合わせください。

日本国外において調整サービスを必要とする場合

補聴器販売店また補聴器販売に関わる専門家のもとに、補聴器をお持ちください。補聴器の軽微な修理サービスや調整をその場で受けることが可能です。一部に国際保証サービスをご提供できない拠点があります。サービス提供の有無については販売店までお問い合わせください。

性能一覧表

BTE(Opn1, Opn2, Opn3, OpnS1, OpnS2, OpnS3, Opn Play1, Opn Play2, Siya1, Siya2, Ruby1, Ruby2) <イヤホン105(105スピーカー)>

●特性

使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池 PR48(13) 1.4V	電池電流	1.9mA 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 3%+3% 以下 800Hz : 2%未満 +3% 以下 1600Hz : 2%未満 +3% 以下
90dB 最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 126dB±4dB SPL ピーク値: 131dB+3dB SPL 以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム: 5ms 未満 ±5ms リリースタイム: 50ms 未満 ±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 61dB±5dB ピーク値 : 66dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	92dB±6dB
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: 下限 <200Hz, 上限 >5000Hz 規 準 利 得: 50dB	試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	1dB±4dB
等価入力雑音レベル	14dB+3dB 以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

BTE(Siya1, Siya2) <イヤホン85(85スピーカー)>

●特性

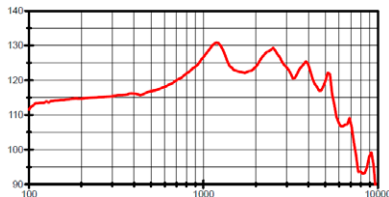
使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池 PR48(13) 1.4V	電池電流	1.7mA 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満 +3% 以下 800Hz : 2%未満 +3% 以下 1600Hz : 2%未満 +3% 以下
90dB 最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 115dB±4dB SPL ピーク値: 120dB+3dB SPL 以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム: 5ms 未満 ±5ms リリースタイム: 30ms 未満 ±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 50dB±5dB ピーク値 : 57dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	80dB±6dB
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: 下限 <200Hz, 上限 >5000Hz 規 準 利 得: 39dB	試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	0dB±4dB
等価入力雑音レベル	18dB+3dB 以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

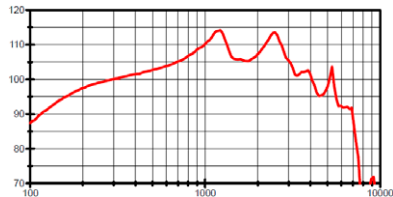
特性表

BTE(Opn1, OpnS1, Opn Play 1) <イヤホン105(105スピーカー)>

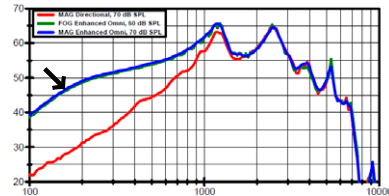
●90dB最大出力音圧レベル



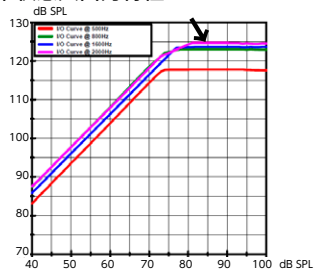
●周波数特性



●最大音響利得



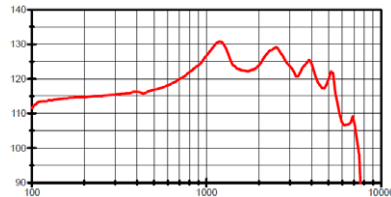
●定常状態入出力特性



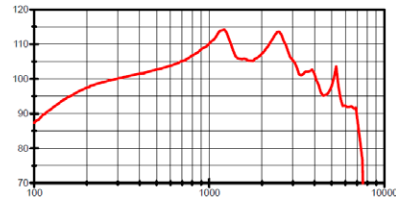
特性表

BTE(Opn2, Opn3, OpnS2, OpnS3, Opn Play2, Siya1, Siya2, Ruby1, Ruby2)
<イヤホン105(105スピーカー)>

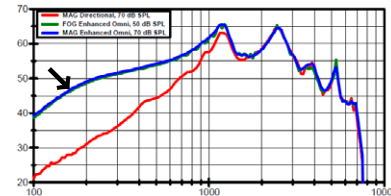
●90dB最大出力音圧レベル



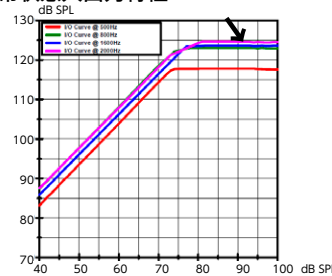
●周波数特性



●最大音響利得



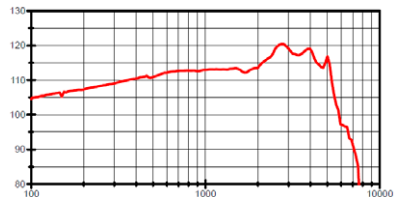
●定常状態入出力特性



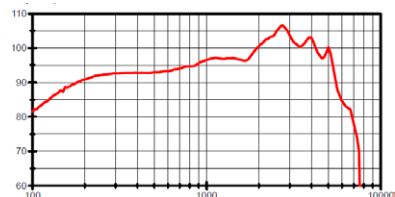
特性表

BTE(Siya1, Siya2) <イヤホン85 (85スピーカー)>

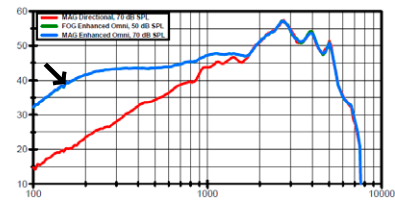
●90dB最大出力音圧レベル



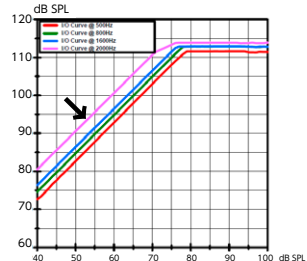
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性



技術適合基準、安全基準および認可番号

本製品には、下記の2つの無線送信機が搭載されています:

3.84MHzの短距離磁界誘導技術を使用した無線送信機を搭載しています。送信機の磁場の強さは非常に低く-40 dB μ A/m@10m以下です。

また、ISMバンドである2.4GHz周波数帯を利用したBluetooth Low Energy(BLE)及び独自の短距離無線技術を使用した無線送信機も搭載しています。2.4GHz送信機の全放射電力でのEIRP (EIRP:実効等方放射電力)は常に4.8dBmと同等の3mW以下です。

本製品は、電磁両立性と人体への曝露に関する国際的な規格に適合しています。

本製品は大きさが限られているので、認可規格の表示は本書に示されています。

さらに詳細な情報は「テクニカルデータシート」を参照ください。

メーカーは、本製品が2014/53/EU指令の基本要件及びその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

本製品に関する適合宣言は、メーカーより入手可能です。



Manufactured by:
Oticon A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark
www.oticon.global

CE 0543



Waste from electronic
equipment must be
handled according to
local regulations.

 **Bluetooth®**



IP68

本書で使用される凡例	
	注意事項 本記号の記された事項は、製品の使用前に必ずお読みください。
	メーカー 本製品メーカーの名称と住所は記号の横に記載されています。これは欧州指令 90/385/EEC、93/42/EEC、98/79/ECに定義されている通りの医療機器メーカーであることを示します。
	CE mark 欧州指令EU Medical Devices Directive 93/42/EECを満たしています。
	Electronic waste (WEEE) Recycle hearing aids, accessories or batteries according to local regulations. Hearing aid users can also return electronic waste to their hearing care professional for disposal. Electronic equipment covered by Directive 2012/19/EU on waste and electrical equipment (WEEE). 本記号は、補聴器やその付属品、電池を通常と異なる廃棄物の処分が求められる可能性があることを示します。処分される際はお住いの自治体が定める方法に従ってください。
	Regulatory Compliance Mark (RCM) The device complies with electrical safety, EMC and radio spectrum requirements for devices supplied to the Australian or New Zealand market.
	IPコード 本記号は有害な水や粒子分子の侵入に対する、EN 60529:1991/A1:2002に準じた保護等級を示します。 IP6Xは完全な防塵保護を示します。 IPX8は継続して水に浸された場合の保護を示します。

	Bluetoothのロゴ Bluetooth SIG, Incの登録商標であり、これを使用するにはライセンスを要します。
	Made for Apple/バッジ デバイスがiPhone、iPad、iPod touchに対応していることを示します。
	ヒアリンググループ このロゴは補聴を表す普遍的なシンボルです。「T」の文字はヒアリンググループが設置されていることを示します。
	無線周波数 (RF) トランスミッター 本製品はRFトランスミッターを搭載しています。
GTIN	Global Trade Item Number (GTIN) 医療機器用ソフトウェアを含む医療機器を識別するための14桁のグローバル識別コードです。本書に記載されるGTINは医療機器ファームウェアに関連します。法規パッケージラベル上に記載のGTINは医療機器ハードウェアに関連します。

パッケージラベルで使用する凡例



湿気厳禁

湿気から保護する必要のある医療機器を示します。



注意

取扱説明書の警告と注意を御覧ください。



カタログ番号

医療機器を識別するためのメーカーのカタログ番号を示します。



シリアル番号

特定の医療機器を識別するためのメーカーのシリアル番号を示します。



管理医療機器

本製品は管理医療機器です。

補聴器の設定

専門家記入欄

耳鳴りサウンドサポート:使用上限			
☐	使用上限なし		
	プログラム	適正音量 (耳鳴り)	最大音量 (耳鳴り)
	1	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
	2	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
	3	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
☐	4	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間

215293JP / 2020.02.21

補聴器設定の概要					
左			右		
☐ はい	☐ いいえ	音量調節	☐ はい	☐ いいえ	
☐ はい	☐ いいえ	プログラム切り替え	☐ はい	☐ いいえ	
☐ はい	☐ いいえ	消音	☐ はい	☐ いいえ	
☐ はい	☐ いいえ	耳鳴りサウンドサポート	☐ はい	☐ いいえ	
音量調節インジケーター					
☐ オン	☐ オフ	最小 / 最大音量でのビープ音	☐ オン	☐ オフ	
☐ オン	☐ オフ	音量変更時のビープ音	☐ オン	☐ オフ	
☐ オン	☐ オフ	開始音量でのビープ音	☐ オン	☐ オフ	
電池残量インジケーター					
☐ オン	☐ オフ	電池切れ警告	☐ オン	☐ オフ	

215293JP / 2020.02.21

通知音とLED表示

補聴器の状態毎に、通知音とLED表示が設定されます。各設定は次ページに表記されています。

お客様の補聴器の通知音とLED表示の設定について、補聴器専門スタッフに記入を依頼してください。

プログラム	☐ 通知音パターン	☐ LED表示 ¹⁾	使用する場面
1	ビープ音 1 回	○	
2	ビープ音2回	○○	
3	ビープ音3回	○○○	
4	ビープ音4回	○○○○	

○ 緑色点滅

プログラム切り替え

☐ 左

☐ 右

☐ 短く押す

☐ 長押し

1) LED表示は、連続点滅又は、1拍間隔をおいて3回点滅します。

電源	通知音パターン	LED表示	LED表示回数
電源オン	☐ 起動メロディ	☐  	1回のみ表示
音量	通知音パターン	LED表示	
開始音量	☐ ビープ音2回	☐ 	1回のみ表示
最小/最大音量	☐ ビープ音3回	☐ ●	
音量を上げる / 音量を下げる	☐ ビープ音1回	☐ ○	
消音		☐ ○ ○ ●	連続点滅又は、1拍間隔をおいて3回点滅

 緑色ゆっくり点滅 ○ 緑色点滅 ● 赤色点滅

音量の変更

☐ 左

☐ 右

☐ 短く押す

次ページに続く

外部通信	☐ 通知音 パターン	☐ LED表示	LED表示回数
FM及び通信用 プログラム ¹⁾	異なる2つの 通知音	 	連続点滅又は、1 拍間隔をおいて3 回点滅
FM及び通信用 プログラム ²⁾	異なる2つの 通知音	 	
機内モード	通知音パターン	☐ LED表示	
機内モード オン	短いメロディ音	  	
機内モード オフ	短いメロディ音	  ³⁾	

 緑色ゆっくり点滅  緑色点滅  赤色点滅

- 1) DAI/FM + 補聴器マイク並びにTVアダプター使用
 2) DAI/FM信号のみ、並びにコネクタクリップのリモートマイク
 3) 3回点滅を選択時のみ

警告	通知音 パターン	LED表示	LED表示について
電池残量低下	ビープ音 3 回	☐       	継続的にリピート
電池残量無し	下降音4回		
サービス リペアモード	ビープ音 8回を 4 回 リピート	☐    	断続的に 4 回 リピート

 赤色、早い点滅  赤色、ゆっくり点滅

製造販売業者：デマント・ジャパン株式会社
一般的名称：耳かけ型補聴器
販売名：ベロックス耳かけ型
認証番号：228AIBZX00015000

